

令和2年4月1日、花輪第一中学校と花輪第二中学校が統合し、花輪中学校が開校しました。二校の統合により、花輪地区の中学校は一つとなり、生徒数は336名を数えることとなりました。花輪第一中学校は、昭和22年に花輪町立花輪中学校として創立、花輪第二中学校も同じ年に柴平村立柴平中学校として創立されました。両校とも73年の歴史を刻んできた学校であり、地域に根ざした特色ある活動を展開してまいりました。

統合校では、この二校の伝統を継承しつつ、地域の期待に応えうる活気に満ちた生徒主体の学校づくりを目指します。花輪中学校の校訓「自琢」には、「自ら学び続ける生徒と教師で、新たな花輪中学校を創る。」という決意も込められております。

グローバル化・情報化等が高度に発達し、激しく変化するこれからの社会を生きる生徒たちには、ふさわしい鹿角に対する愛着と誇りを基盤とし、生涯にわたり学び続ける力と、自分の夢や目標の実現のため、創意工夫して挑戦し続ける気概をもってほしいと願っています。そこで、目指す生徒像「自律・協働・進取」と学校教育目標「自ら学び続け、共に未来を拓く生徒を育む」を掲げました。

学校教育目標を具現するためには、保護者・地域との一層の連携が不可欠であります。花輪第一中学校と花輪第二中学校が、多くの皆様から支えていただいたように、花輪中学校においても変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。開校にあたってのご挨拶といたします。

令和2年5月1日

鹿角市立花輪中学校
校長 田中 一良